



# 音楽療法の紹介

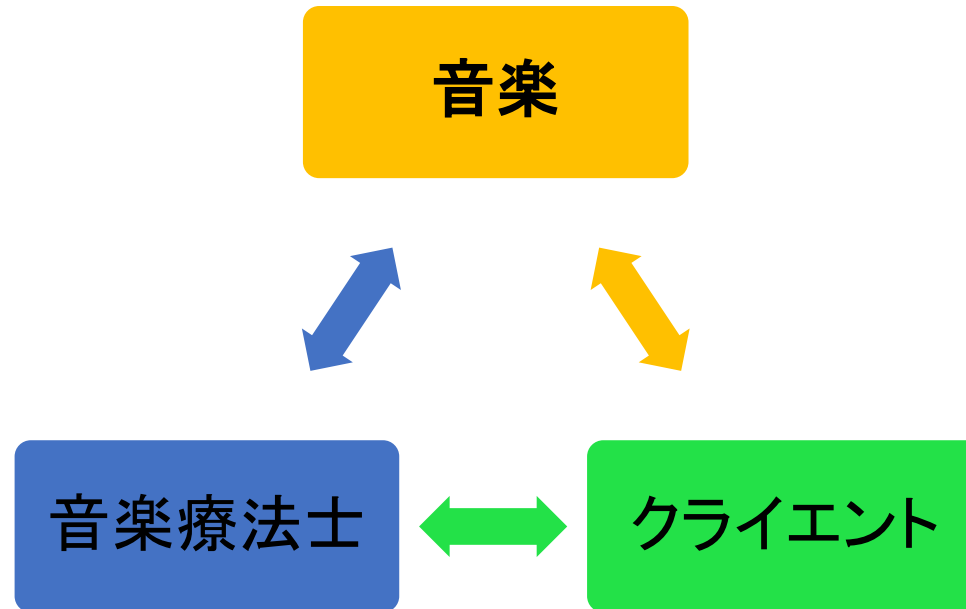
日本音楽療法学会

# 音楽療法とは

音楽には、人の生理的、心理的、社会的、認知的な状態に作用する力があります。

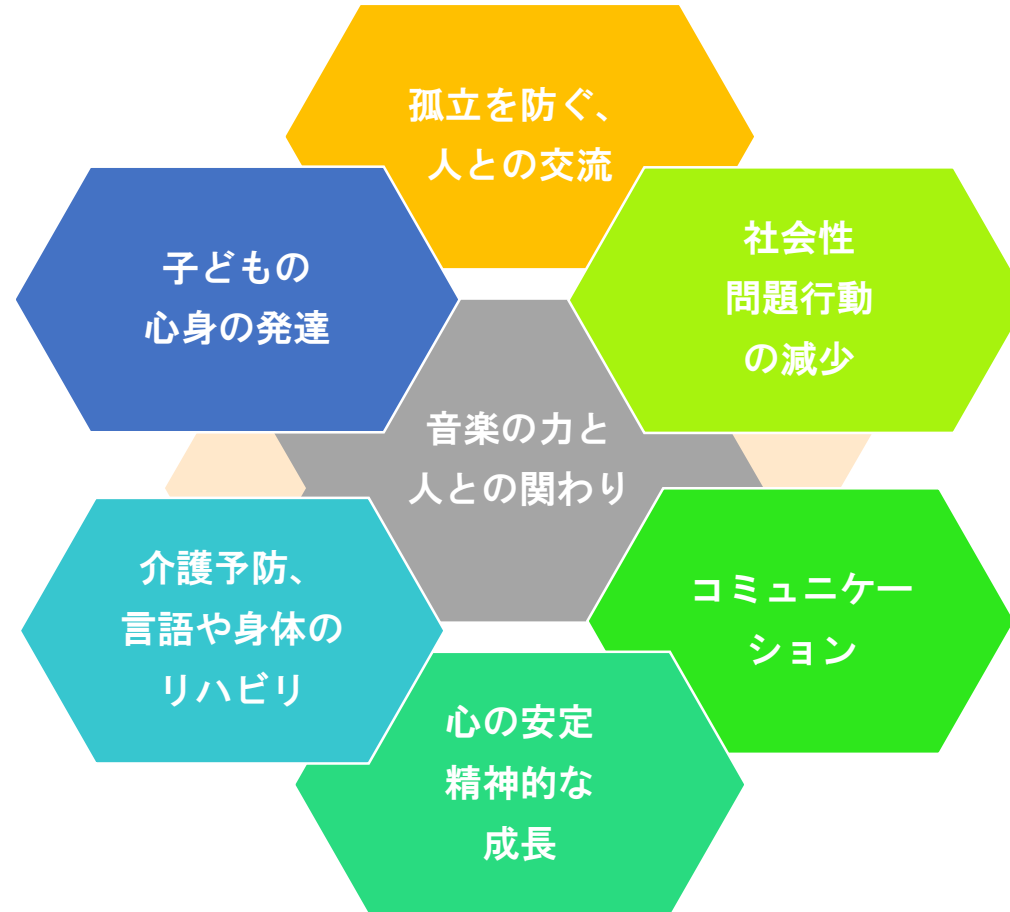
音楽療法では、活動における音楽の持つ力と人とのかかわりを用いて、クライアントを多面的に支援していきます。

言語を用いた治療法が難しいクライアントに対しても有効に活用できる方法です。



# 音楽や音楽療法活動の効果

音楽療法の活動は、  
クライアントの「より良い生活(QOLの向上)」に  
つながります。



# 音楽療法士の仕事と対象

音楽療法士は、次のような場所で仕事をします。  
対象年齢は乳幼児から高齢者まで幅広く、  
健常な人から重度の障がいのある人までと、様々です。

## 医療

- 病院
- 在宅など

## 福祉

- 高齢者施設
- 障害児・者施設
- 地域社会での  
取り組み
- 在宅など

## 教育

- 特別支援学校・  
学級
- 在宅など

# 音楽療法の目的

クライアントのニーズによる様々な目的の例

子どもの  
発達支援

健康維持  
介護予防

病気・事故後  
のリハビリ  
テーション

学習支援

リラクセー  
ション

認知症の  
症状の緩和

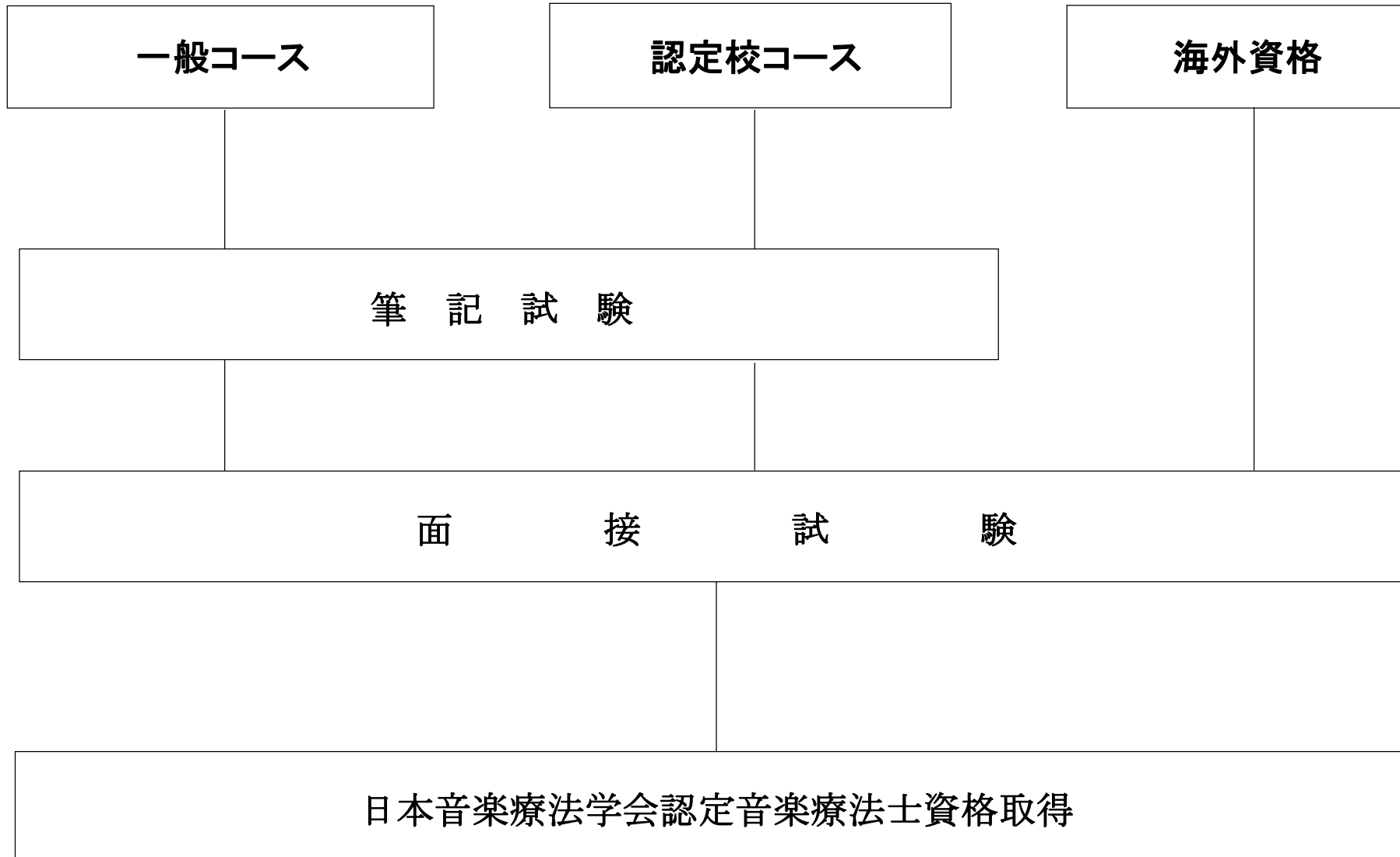
痛みの緩和

心のケア

# 音楽療法士の資格

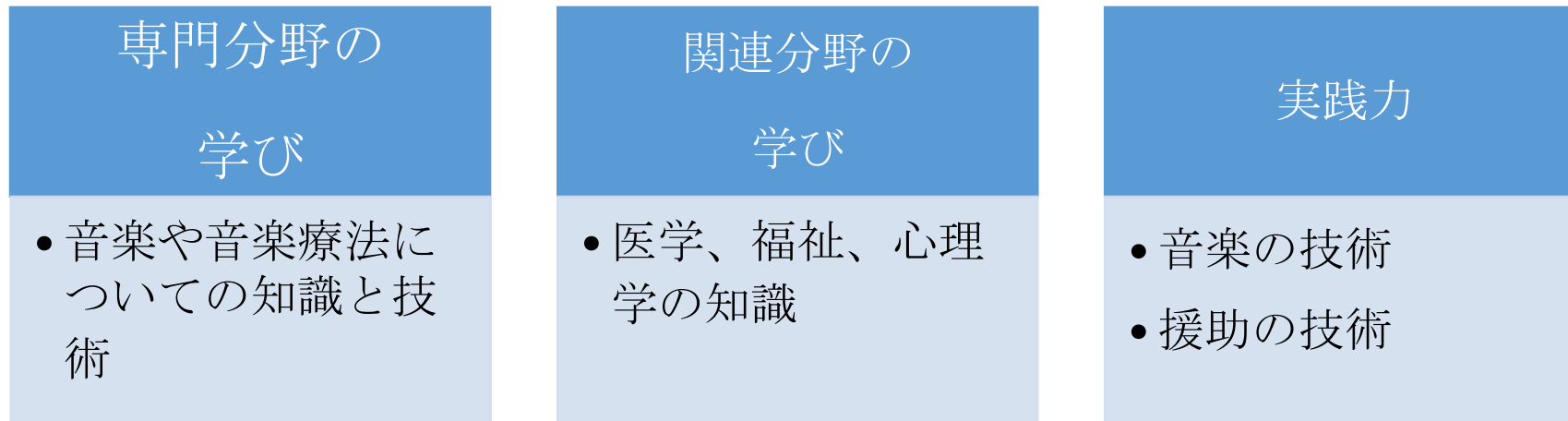
- 現在、民間の資格です。数種類の音楽療法士の資格がありますが、**日本音楽療法学会**では、**認定校**の卒業生に対し、認定のための試験の受験資格を与え、筆記試験と面接試験を経て、「**日本音楽療法学会認定音楽療法士**」の資格を与えています。
- 認定校では、音楽療法士になるための**3年以上の教育**が課せられます。3年制の専門学校と、4年制の大学があります。
- 社会人に対しては、一定の受講条件を満たす人については、学会が提供する認定講座を受講し、筆記、面接試験に合格し、資格を得る制度があります。

# 学会認定音楽療法士の資格取得



# 音楽療法士に必要な知識や技術

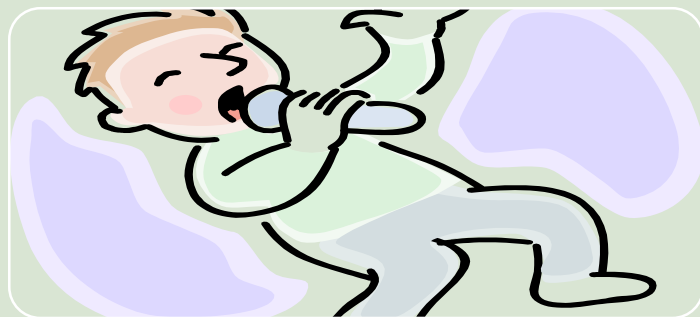
- 音楽療法士は、働く場所により、医療、福祉、教育などの専門職であると同時に、「**音楽の専門家**」です。したがって、高度な**音楽の知識や技術**が必要です。
- 音楽療法士になるためには、次のようなことについて学びます。





# 音楽療法の方法

- 音楽療法には、**能動的**な方法と、**受動的**な方法があります。また、グループでセッションをする場合と、個別で行う場合があります。



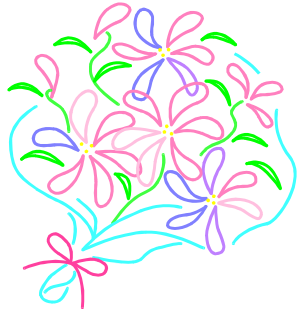
## 能動的

既成の曲や即興演奏などで実際に歌う、楽器演奏する、身体を動かす、音楽づくりなど

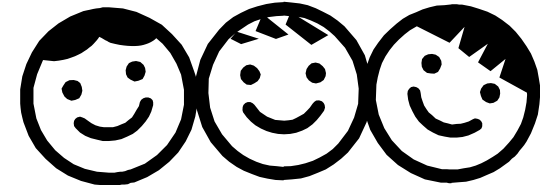


## 受動的

音楽を聴くことでリラクゼーション、瞑想、精神治療など



(^^)♪ お問い合わせ先



\*興味を持たれた方は、日本音楽療法学会事務局、または学会認定校にお問い合わせください。

日本音楽療法学会事務局

〒105-0013

東京都港区浜松町1-20-8 浜松町一丁目ビル6階

Tel: 03-5777-6220 Fax: 03-5401-0337

学会ホームページ: <http://www.jmta.jp/>



# 日本音楽療法学会認定校



- 札幌大谷大学
- 茨城音楽専門学校
- 国際音楽療法専門学院
- 東邦音楽大学
- 国立音楽大学
- 東京心理音楽療法専門学校
- 日本大学芸術学部
- 聖徳大学
- 昭和音楽大学・大学院
- 東海大学
- 長野医療衛生専門学校
- 名古屋音楽大学
- 名古屋芸術大学
- 同志社女子大学
- 相愛大学
- 武庫川女子大学
- くらしき作陽大学<sup>注</sup>音楽療法専攻新入生募集なし
- 平成音楽大学

※連絡先は、各学校ホームページをご覧ください。